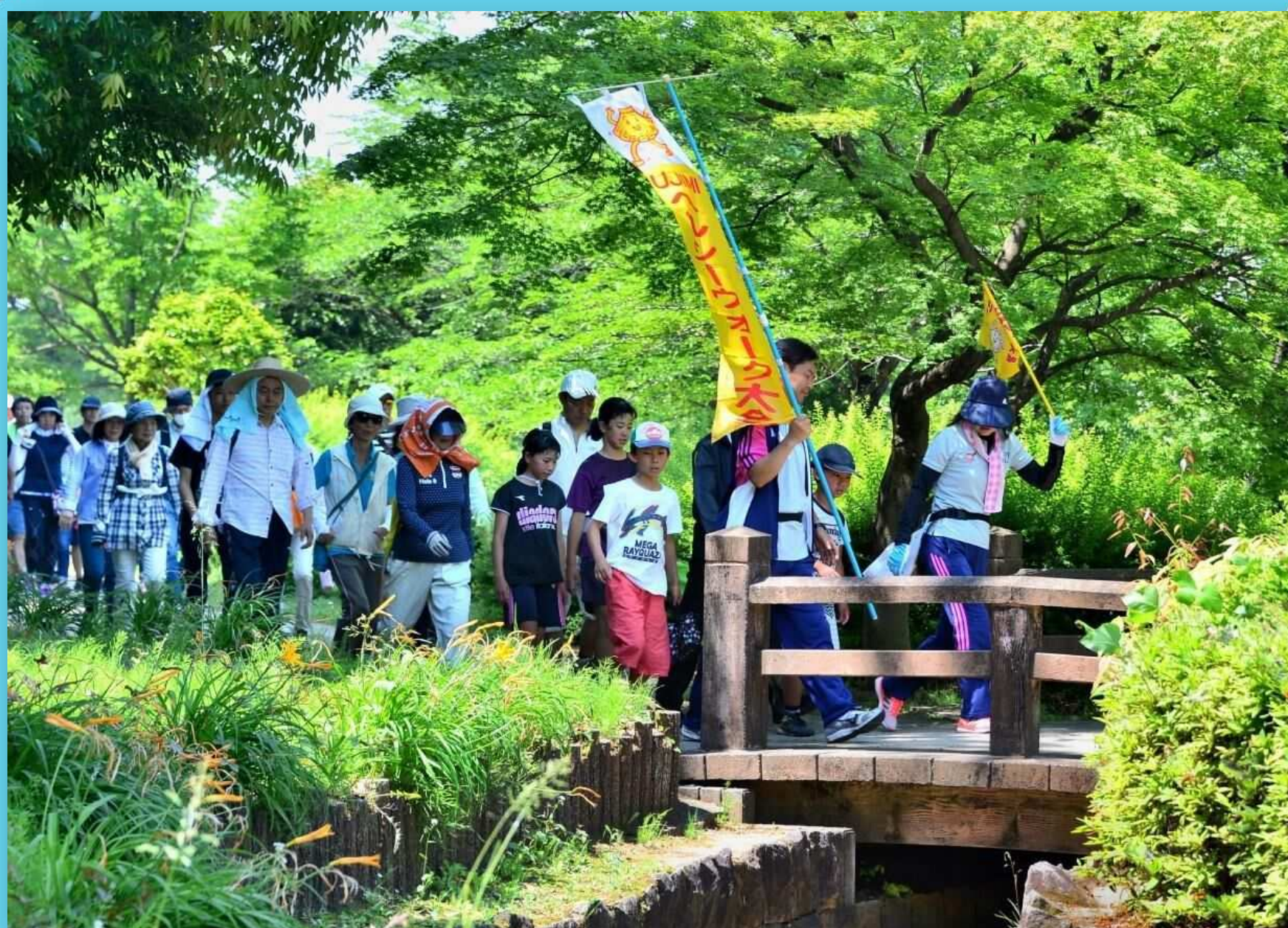




概要版

第2期

富士見市スポーツ推進計画



【令和4年度～令和8年度】

令和4年4月
富士見市

基本理念

からだ

「スポーツで身体と地域を元気にし、 みんな笑顔になれるまち」の実現

計画の位置づけと目標

第2期計画は、第6次基本構想・第1期基本計画の個別計画であることから、第1期基本計画の基本政策である「スポーツで元気になる」、「スポーツにより交流が活性化する」の達成を第2期計画の目標とするとともに、スポーツの環境整備やスポーツを活かしたシティセールスについて重点的に取り組めます。

第6次基本構想・第1期基本計画

第6次基本構想（令和3年度～令和22年度）

理想の未来 「充実した日々」

基本政策を達成することにより、
基本構想が掲げる理想の未来の実現を目指す。

達成

達成

第1期基本計画（令和3年度～令和7年度）

スポーツ分野 基本政策

「スポーツで元気になる」
「スポーツにより交流が活性化する」

その他の第1期基本計画各分野の基本政策

具体化

個別計画

第2期富士見市スポーツ推進計画

- ・第1期基本計画におけるスポーツ分野の基本政策実現のため、具体的な取組を計画するもの。
- ・基本理念
「スポーツで身体と地域を元気にし、みんな笑顔になれるまち」
の実現

施策体系

基本目標

施策の柱

基本理念

「スポーツで身体と地域を元気にし、みんな笑顔になれるまち」の実現

基本目標 1
スポーツで生涯にわたる健康生活

1-1 各世代のニーズに応じたスポーツ活動の推進

1-2 障がい者のスポーツ環境の推進

1-3 健康づくり事業の推進

基本目標 2
スポーツを通じた市民の交流と地域の活性化

2-1 一流選手等から学ぶ機会の創出

2-2 スポーツ団体等への活動支援

2-3 総合型地域スポーツクラブへの支援・連携

2-4 東京2020大会レガシーによる交流機会の充実

基本目標 3
スポーツをするための環境整備の促進

3-1 運動公園等のスポーツ施設の再整備

3-2 公共スポーツ施設の効果的な活用

3-3 地域施設の有効活用

基本目標 4
スポーツを活かした愛着の醸成とシティセールスの推進

4-1 市民アスリートへの支援

4-2 人財の発掘やコラボレーションによる魅力とにぎわいの創出

4-3 「レスリングのまち富士見市」の推進

4-4 大会誘致によるシティセールスの充実

基本目標1 スポーツで生涯にわたる健康生活

年齢や性別、障がいの有無に関わらず市民誰もが、それぞれの年齢に応じて生涯にわたり楽しくスポーツ活動に親しみ、健康を獲得できるよう、世代ごとのレベルやニーズに応じたスポーツ・レクリエーション活動を推進します。

※1 K P I	指 標	現状値	目標値
		週1回以上スポーツをする人の割合 (スポーツに関するアンケート調査)	42.9%(R2)
施策展開の方向		1-1 各世代のニーズに応じたスポーツ活動の推進	
※2 K S F	スポーツをすることが好きという割合 (スポーツに関するアンケート調査)	現状値 73.4%(R2)	目標値 80.0%(R8)
事業内容		区分等	
①子どものスポーツ活動の推進		継続	
子どもの頃からスポーツ習慣が身につくような体験機会を推進します。		子ども向け又は親子向け教室、体験会の実施	
②学校体育活動の推進		継続	
教育活動全体を通じた体育活動の充実や部活動でのより質の高い学習と、生徒のやる気を起こすきっかけをつくります。		体育授業でのPC、タブレットの活用や部活動への外部指導者の登用	
③成人スポーツ活動の推進		充実	
スポーツに関心を寄せ、気軽に取り組むための啓発活動を行います。また、各種スポーツ大会、教室、イベントの機会を増やします。		啓発目的とした事業の取り組みと健康増進スポーツ大会やスポーツフェスティバル、体験教室の実施	
④高齢者スポーツ活動の推進		継続	
高齢者の健康・体力づくりのための事業や機会の充実を図るとともに、家庭でも無理なくできるスポーツ活動の普及を図ります。		ラジオ体操講習会、パワーアップ体操、高齢者向けスポーツ教室の実施	
⑤ニーズの把握と情報提供の推進		充実	
各世代のニーズを調査するとともに、世代に応じた情報周知を図ります。		アンケート調査やイベント実施状況の検証、世代に応じた広報・ホームページ・チラシ・SNSの使い分け	
施策展開の方向		1-2 障がい者のスポーツ環境の推進	
K S F	障がい者スポーツを体験したり見たりしたことがある人の割合 (スポーツに関するアンケート調査)	現状値 67.6%(R2)	目標値 75.0%(R8)
事業内容		区分等	
①障がいのある人のスポーツ活動機会の拡充		重点	
障がいのある人が参加できるようスポーツ活動機会の拡充を図ります。		ポッチャ、車椅子バスケット等の障がい者向け事業の実施	
②障がいのある人のスポーツへの理解・協力の推進		充実	
関係団体と連携を図り多くの人の理解と協力を深め、障がい者のスポーツ環境の向上を図ります。		福祉関係団体、スポーツ関係団体との連携や鶴瀬公民館事業「青年学級」への協力	
施策展開の方向		1-3 健康づくり事業の推進	
K S F	健康づくり事業（ヘルシーウォーク、ラジオ体操教室、パワーアップ体操等）の参加者数	現状値 953人(R2)	目標値 2,000人(R8)
事業内容		区分等	
①各分野との連携による健康増進事業の展開		継続	
スポーツ分野だけではなく、多分野との連携により、健康づくりのための運動指導や介護予防教室等の拡充を行います。		健康増進センター、社会福祉協議会との連携	
②気軽にできる健康づくり事業の推進		継続	
年齢を問わず気軽に実践できる健康づくりのための事業を推進します。		ヘルシーウォーク、ラジオ体操講習会の実施	
③ICTを活用した健康づくり事業の推進		継続	
自宅でも健康づくり事業を受講できるようICTを活用した事業を推進します。		パワーアップ体操のインターネット配信の継続やその他、健康づくり事業の配信検討	

※1 K P I（ケーピーアイ）Key Performance Indicatorの略。数値目標の達成のために重要となる施策の目標値。

※2 K S F（ケーエスエフ）Key Success Factorの略。K P I達成のために重要となる取組の目標値。

基本目標2 スポーツを通じた市民の交流と地域の活性化

多くの市民が地域のあらゆるところで、「する」、「観る」、「支える」の観点からスポーツにかかわりを持ち、それぞれの取り組みが、市民のつながりの形成となることを目指します。

K P I	指 標	現状値	目標値
	スポーツを通じて、他者とのつながり、交流を実感した経験があるという割合	—	50.0%(R8)

施策展開の方向		2-1 一流選手等から学ぶ機会の創出	
K S F	一流選手等から学ぶ体験教室や子どもスポーツ大学等での講義回数	現状値 5回(R3)	目標値 12回(R8)
事業内容		区分等	
①スポーツ選手及び指導者との交流推進		継続	
社会人スポーツチームや大学と連携して、スポーツイベントや研修会を開催します。また、「観る」スポーツ、「支える」スポーツの一環として市民と連携して、企業や大学のスポーツチームを応援や支援できる環境をつくりま		企業（スポーツ団体）との連携やフレンドリーシティー協定（埼玉西武ライオンズ）の活用	
②子どもスポーツ大学☆ふじみへの支援		継続	
スポーツに特化した子ども大学「子どもスポーツ大学☆ふじみ」の実施により、初めて出会う子ども同士が交流を行う機会をつくりま		子どもスポーツ大学☆ふじみ実行委員会への補助	
施策展開の方向		2-2 スポーツ団体等への活動支援	
K S F	スポーツフェスティバル、健康増進スポーツ大会の参加者数	現状値 1,948人(R2)	目標値 8,000人(R8)
事業内容		区分等	
①スポーツ協会、スポーツ推進委員連絡協議会等の関係団体との連携強化		継続	
地域のスポーツ関係団体の活動について支援を行っていくとともに、スポーツ人口を増やし、多くの市民がスポーツに親しむ機会と市民同士の交流機会の充実を図ります。		スポーツ協会、スポーツ推進委員連絡協議会への補助や市との共催による事業実施	
②市民のスポーツ活動を支える団体の育成・支援		継続	
市民のスポーツ活動を推進する団体の育成を図り、「観る」スポーツの環境、「支える」スポーツの環境を推進します。		大会利用のための施設優先予約、健康増進スポーツ大会実施への補助	
③スポーツ・レクリエーションを通じて、市民交流の促進		新規	
パークゴルフやバドミントン等の市内公共施設を利用したスポーツ・レクリエーション活動を推進して市民の交流を図ります。		体験教室や大会の実施	
施策展開の方向		2-3 総合型地域スポーツクラブへの支援・連携	
K S F	総合型地域スポーツクラブ延べ参加者数	現状値 1,800人(R3)	目標値 5,000人(R8)
事業内容		区分等	
①スポーツを通じた交流事業の展開		新規	
総合型地域スポーツクラブへの支援と連携により、スポーツを媒介とした市民の地域交流を推進します。		総合型地域スポーツクラブの周知協力とイベント時の講師依頼	
施策展開の方向		2-4 東京2020大会レガシーによる交流機会の充実	
K S F	東京2020大会レガシー事業の実施回数	現状値 4回(R3)	目標値 6回(R8)
事業内容		区分等	
①セルビア共和国との交流事業の展開		新規	
ホストタウンとして親交を深めたセルビア共和国や姉妹都市のシャバツ市と機会を捉えスポーツを通じた交流事業を行います。		セルビア共和国関係者来日時に合わせたスポーツを通じた交流事業	
②共生社会ホストタウンの取り組みの充実		新規	
障がい者スポーツ等を通じて、障がい者への理解を深める取り組みを行います。		車椅子バスケット、ボッチャをはじめとした障がい者スポーツの体験会実施	
③富士見TOPサポーターを活用した事業の展開		新規・重点	
富士見TOPサポーターの増員及び活動機会の充実を図り、「支える」スポーツの環境整備を推進します。		富士見TOPサポーターの新規募集や研修会の実施	

基本目標3 スポーツをするための環境整備の促進

スポーツ施設の修繕や整備に関して、計画的に実施していきます。また、地域の公共施設の有効活用や利便性を高める取り組みを行います。

KPI	指標	現状値	目標値
	市内のスポーツをする施設が「充実している」という割合	19.6%(R2)	30.0%(R8)

施策展開の方向		3-1 運動公園等のスポーツ施設の再整備	
K S F	スポーツ施設の再整備計画の策定数	現状値	目標値
		0か所(R3)	1か所(R8)
事業内容		区分等	
①スポーツ施設のバリアフリー化の推進		重点	
スポーツ施設の改修等により誰もが利用しやすいようバリアフリー化を推進します。		市内スポーツ施設改修時に合わせたバリアフリー工事の実施	
②屋外スポーツ施設の再整備計画の検討		新規・重点	
第2運動公園、富士見ガーデンビーチ跡地についての再整備を検討します。		第2運動公園の再整備計画の策定と富士見ガーデンビーチ跡地利用計画の策定	
施策展開の方向		3-2 公共スポーツ施設の効果的な活用	
K S F	市内公共スポーツ施設でスポーツをしている割合 ※スポーツ施設のみ (スポーツに関するアンケート調査)	現状値	目標値
		22.4%(R2)	40.0%(R8)
事業内容		区分等	
①日常的なスポーツ活動の推進		継続	
平日夜間や土日祝祭日等、限られた時間の中で市民がスポーツ活動ができるよう取り組みます。		屋内スポーツ施設、屋外スポーツ施設、学校体育施設の効果的な運用方法の検討	
②スポーツ施設に関する情報の効果的な提供		充実	
各世代によって情報収集方法が異なることから、効果的な情報提供について検討します。		ホームページやパンフレットの内容の見直しや周知方法の再検討	
③利用者ニーズに沿った施設利用手続きの検討		継続	
スポーツ施設の利用について、利用者のニーズに沿った運営方法を検討します。		I C T導入によるスポーツ施設の手続き方法簡素化の検討	
④スポーツ施設の適切な維持管理		重点	
全てのスポーツ施設について、利用者が快適に利用できるよう適切な維持管理を行います。		スポーツ施設での日常整備や維持管理の充実	
施策展開の方向		3-3 地域施設の有効活用	
K S F	市内公共施設でスポーツをしている割合 ※公民館や都市公園等も含む (スポーツに関するアンケート調査)	現状値	目標値
		46.1%(R2)	55.0%(R8)
事業内容		区分等	
①スポーツができる場所の提供		充実	
あらゆる世代の人がスポーツ活動ができるように市内既存施設でのスポーツ活動の機会を提供します。		公民館、交流センター等を活用したスポーツ機会の提供	
②公園、広場、緑地等への健康遊具の設置		継続	
市民のスポーツに対する意欲を高めるため、公園等で気軽に運動できるような健康遊具の設置や遊歩道に距離表示を設置する等、取り組んでいきます。		公園担当課との連携による健康遊具の設置	

基本目標4 スポーツを活かした愛着の醸成とシティセールスの推進

スポーツで活躍する富士見市民を市の魅力「人財」と捉え、活動を応援します。全国大会やプロスポーツ等で活躍する市民が増えることにより、「スポーツが盛んなまち」として、市民の「ふるさと富士見市」への愛着の醸成につなげます。同時に、市外から訪れる選手や観客に対しては富士見市の魅力を発信し「行ってみたいまち」、「住んでみたいまち」として、富士見市のファンの増加を図ります。

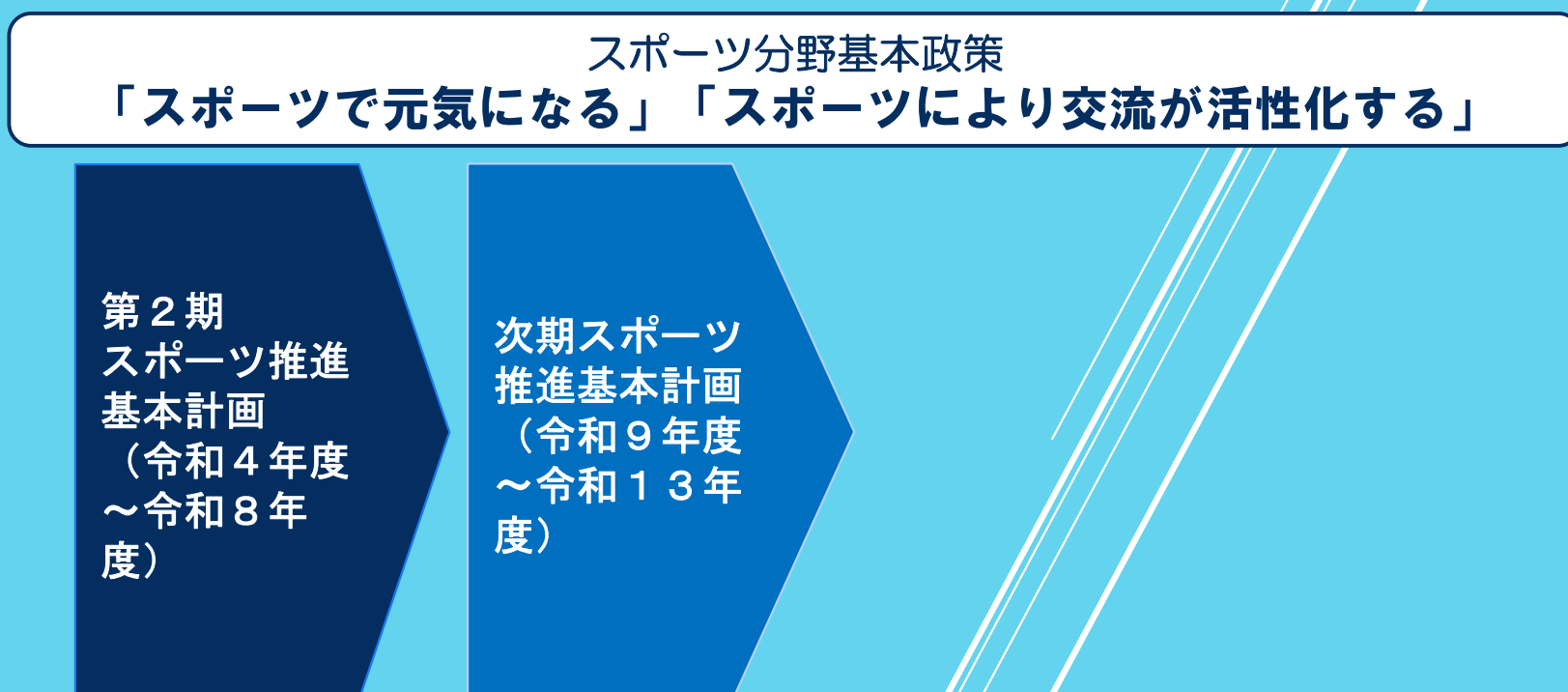
K P I	指 標	現状値	目標値
		富士見市はスポーツの推進が「図られている」という割合(スポーツに関するアンケート調査)	24.2%(R2)
施策展開の方向		4-1 市民アスリートへの支援	
K S F	指導者養成講座の参加者数	現状値	目標値
		36人(R3)	100人(R8)
事業内容		区分等	
①全国大会等出場者への支援		充実	
全国大会等で優秀な成績を収める事ができるよう、選手に対して必要な支援を行います。		富士見市文化芸術・スポーツ大会等出場奨励金の交付、広報富士見での周知	
②市民アスリートを支える環境づくり		充実	
競技スポーツを志す市民の活動の手助けとなるよう、技術、知識等の向上を図れる環境をつくります。		指導者養成講座の実施	
施策展開の方向		4-2 人財の発掘やコラボレーションによる魅力とにぎわいの創出	
K S F	市民アスリートを講師とした体験教室の開催数	現状値	目標値
		—	3回(R8)
事業内容		区分等	
①市内で活躍するスポーツ選手の発掘		新規	
スポーツで活躍する市民や団体がさらに優秀な成績を収める事が出来るよう、必要な支援を行います。		富士見市文化芸術・スポーツ大会等出場奨励金の交付、体験教室の実施、広報富士見への掲載による支援	
②スポーツ選手との連携による体験教室の開催		充実	
スポーツで活躍する市民を講師として、デモンストレーションや体験教室を行い、広く市民に知ってもらい競技の活性化につなげます。		指導者養成講座、体験教室の実施	
施策展開の方向		4-3 「レスリングのまち富士見市」の推進	
K S F	市内スポーツ施設を会場としたレスリング大会の開催数	現状値	目標値
		2回(R3)	6回(R8)
事業内容		区分等	
①レスリング大会や体験教室の開催		充実	
「レスリングのまち富士見市」を推進するため、大会や体験教室の充実を図ります。		日登美杯少年少女レスリング大会や全国大会開催時に合わせた体験教室の実施	
②レスリング愛好者の増加		新規	
レスリング愛好者を増やすため、レスリング大会の誘致や初心者体験教室を実施し市民の関心度の向上を図ります。		県内外のレスリング団体との連携強化や機会を捉えた初心者体験教室の実施	
施策展開の方向		4-4 大会誘致によるシティセールスの充実	
K S F	全国大会やプロスポーツの誘致数	現状値	目標値
		3回(R3)	6回(R8)
事業内容		区分等	
①大会の誘致		充実	
企業や大学のスポーツリーグ、さらに各種国際大会を市内のスポーツ施設で大会を開催できるよう誘致活動を行い、市民が一流のプレーに触れられる機会をつくります。		スポーツ関係団体との連携強化による誘致活動	
②大会参加者に対するシティセールス		充実	
市民総合体育館を訪れた選手や観客に対して、富士見市への関心度を高めるPR活動を行います。		PR資料の配布	

第6次基本構想・第1期基本計画と 第2期スポーツ推進基本計画の関係

第6次基本構想



個別計画



計画全文は、富士見市公式ホームページからご覧いただけます。
https://www.city.fujimi.saitama.jp/miru_tanoshimu/bunka_sports/sports/2017-0616-0945-65.html



第2期富士見市スポーツ推進計画（概要版）

発行 富士見市
 編集 富士見市 協働推進部 文化・スポーツ振興課
 発行 令和4年4月

